

トラストだより

平成29年

7

月

夏の強~い味方！蚊取り線香のお話

夏のお悩み「蚊」。最近では蚊が媒介するデング熱がすごいぶん騒がれました。

お庭の手入れの際など、うずまき型の「蚊取り線香」が活躍する季節ですね。

蚊取り線香を世界で初めて発明し、うずまき型デザインを開発したのは「KINCHO（金鳥）」のブランドで知られる大日本除虫菊株式会社です。創業者の上山英一郎氏はミカン農家を営んでいた明治18年、アメリカより「除虫菊」の種子を手に入れました。初めに作ったのは仏壇のお線香からヒントを得た「金鳥香」これは約20cmの棒状をしており燃え尽くるまで約40分。時間を延ばしたくとも20cmを超えると線香が折れて火災の危険も高まります。そこで発案されたのがうずまき型でした。約6時間と利用時間が飛躍的に伸び、実用性が格段に高まりました。

ところでKINCHOの蚊取り線香が「左巻き」であることはご存知ですか？蚊取り線香が本格的に普及すると模造品が出回るようになり、中には粗悪な品も多くありました。そこで昭和32年、蚊取り線香生産の機械化に合わせ「生産時に機械のネジが緩む」として嫌われた「左巻き」をあえて採用し「右巻き」の模造品との差別化を図ったそうです。蚊取り線香の有効成分は人体に無毒なピレスロイドが使われています。ピレスロイドは太陽で分解されやすいため、日の当たらないところで保管するのが良いそうです。



すっかり夏の日差しになりましたね！大人になっても蝉の声や朝顔、ひまわりを目になると気分がウキウキします。

株式会社東京トラスト

不動産ニュース 活況ビル市況 空室率低下だが賃料の上昇は鈍い



空室率が低下し活況が続くオフィビル。東京都心5区の4月末の平均募集賃料は40カ月連続で上昇しているが、空室率は3.39%と8年11カ月ぶりの低水準を記録している。しかしその割には賃料の上昇ペースは上がっていない。主な理由は3つあり、①2018年以降に大型ビルが相次ぎ完成するなどの供給の増加 ②高額の賃料を払える企業の不足 ③入居企業と長期的な関係を重視するビルオーナーが多く「大幅な賃料の引き上げが起きにくい」等のビル所有者の姿勢の変化 といった要因が上値を抑えている。

立地などの競争力の高低でビルごとの明暗が分かれそうだ。

東京都不動産協会ニュースより

西荻グルメ 中華 味かね



西荻窪駅北口から青梅街道を超えた桃井の秀の湯さんの隣に新しく中華のお店がオープンしました。お店の顔「肉汁たっぷり味かね餃子」をはじめ、メニューにはパクチー、にんにく、四川、ゆずなどの変わり餃子が色々。スープ入り水餃子もとても美味しかったです。餃子以外にも麺類やチャーハンもありお腹いっぱいになれますよ♪

杉並区桃井4-2-9 TEL : 03-3397-2955

